

## こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

愛知県議会の6月定例会が今月18日から始まりますが、「中京大都市圏づくりに向けた愛知県の広報戦略」をテーマに、本会議における自身4度目の一般質問を24日に行う予定であります。

前回のコラムでも触れさせて頂いた通り、民間調査機関が2009年から発表している、いわゆる「都道府県魅力度ランキング」において、愛知県は現在16位となっていますが、グローバル経済の進展や新興国の台頭などにより、世界規模での大都市圏競争が益々厳しさを増しており、更には、我が国は本格的な人口減少社会に突入しておりますが、こうした厳しい環境下において、魅力度を向上し、都市間競争・地域間競争に打ち勝っていかなければなりません。

また、リニア開業を見据えた中京大都市圏づくりに向け、魅力度向上と共に、愛知県の情報発信力を如何に高めていくかも重要課題の一つと考えますので、今回の質問では、産業集積・観光・農産品を含む愛知ブランドのPR、更には愛知県トータルとしての広報戦略について質問・提言してまいる所存であります。

特に産業集積については、2027年リニア開業による首都圏と中京圏が一体化する中、首都圏へのストロー現象を最小限に食い止めるためにも、この地域の役割を明確にしつつ、独自の強みを発揮していく事が求められております。

その為にも、この地域の強みである圧倒的な「モノづくり産業」の集積をベースにしながらも、首都圏が持つ高度なサービス産業との連携を図りながら、リニア大交流圏の中で的一大産業拠点としての役割を今後も担っていく必要がありますので、更なる産業集積に向けた国内外への広報活動の強化を提言してまいります。



愛知県議会議員

こ た ま よ し か ず

樹神 義和 